

近畿ブロック 高次脳機能障がい者支援体制の整備状況（府県）（平成 26 年 9 月末現在）

（近畿別添資料 1）

府県名		京都府	和歌山県	奈良県
支援拠点機関名		京都府リハビリテーション支援センター	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	奈良県障害者総合支援センター 高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター 氏名 職種 常勤 or 非常勤 専任 or 兼務		・大戸 淳志（臨床心理士・常勤・専任） ・久保原寛子（社会福祉士・非常勤（週3日）・専任）	・嶋本 真弓（作業療法士・常勤・兼務） ・柴田 理子（社会福祉士・非常勤・専任）	・河地 睦美（社会福祉士・常勤・専任） ・植村 紀子（精神保健福祉士・常勤・専任） ・池上 恭世（心理士・非常勤・専任）
庁内外支援体制整備関連会議の立ち上げについて	庁外（会議名及び参加機関名）	—	●和歌山県高次脳機能障害支援普及事業検討委員会 （年 2 回開催予定） 第 1 回 7 月開催 第 2 回 3 月開催予定	●平成 26 年度高次脳機能障害支援体制検討委員会 （医療関係者、労働局、障害者職業センター、当事者団体、支援拠点機関、県関係課）
	庁内（会議名及び参加職種・組織名など）	アクションプラン推進に係る関係者検討会 ・府立心身障害者福祉センター、同附属リハビリテーション病院 ・リハビリテーション支援センター（支援拠点） ・障害者支援課	—	自立訓練センターとの調整会議（月 1 回・支援センターと訓練担当者・生活支援員）
相談件数 ①来院・来所 ②電話 ③メール・書簡 ④その他（訪問・出張・同行など）	当事者・家族	① 53 件 ② 254 件 ③ 187 件 ④ 73 件 合計 567 件	① 6 件 ② 286 件 ③ 50 件 ④ 51 件 合計 293 件	① 245 件 ② 392 件 ③ 64 件 ④ 16 件 合計 717 件
	関係機関	① 2 件 ② 393 件 ③ 119 件 ④ 14 件 合計 528 件	① 8 件 ② 235 件 ③ 62 件 ④ 67 件 合計 372 件	① 18 件 ② 907 件 ③ 74 件 ④ 3 件 合計 1,002 件
研修会・セミナー等の開催状況及び講師派遣 ※研修会名・回数のみ記入。詳細は添付資料 1 参照		●研修会開催(1 回) ・平成 26 年度京都府高次脳機能障害医療福祉関係者等研修会 ●参加協力(2 回) ・第 13 回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会(北部)(予定) ・第 14 回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会(南部)(予定) ●講師派遣(2 回) ・障害者就労支援スキルアップ研修会 ・障害者雇用普及・啓発セミナー	●関係職員等研修会 1 回 ●地域支援ネットワーク研修会 3 回 ●講師派遣 1 回	●研修会 3 回 ●講師派遣 1 回
府県内の地域支援ネットワークの整備状況		●京都府高次脳機能障害支援ネットワーク会議 ・医療、福祉、介護、行政等を対象 ・3 回開催（京都府南部）（京都市内、京都府北部）（予定）	・圏域における支援ネットワーク構築のための検討会議を実施する	・医療機関職員対象研修会の開催（日医生涯教育講座の認定あり） ・支援機関職員対象研修会の開催（県北部・南部の 2 つの会場で同内容を開催）
拠点機関における訓練の提供状況	医療機関	●京都府立医科大学附属病院（協力医療機関）において、神経心理学検査、認知リハ等を実施。検査 40 件 リハ 50 件	—	●嘱託医による月 4 回の診察を実施しており、検査・診断をおこなっている。その後、主治医へ結果の報告をし、継続した治療・リハビリ等を依頼。
	福祉・就労支援機関	●特になし	●訓練の提供は実施していない	●自立訓練センターの生活訓練の情報提供をおこなう。

府県名		京都府	和歌山県	奈良県
支援拠点機関名		京都府リハビリテーション支援センター	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	奈良県障害者総合支援センター 高次脳機能障害支援センター
就労支援について	どのような経路で就労支援を行っていますか	障害者職業センターにて、職業評価・職業準備支援等の開始部分を担ってもらい、次いでハローワークや障害者就業・生活支援センターへ繋いで、具体的企業や復職先との連携における中心機関としての役割をお願いしている。 また、結果的に福祉的就労となった場合でも、積極的な職業評価・準備支援の利用が可能であり（職業センター談）、就労段階への移行の際の動機付けとしても、今後さらに活用していきたい。福祉的就労においては、該当エリアの障害者地域生活支援センターが中心となって、継続的支援をお願いしている。 就労（復職）に結びついた場合も、必要に応じて職場訪問等を通じて事業所（職場）との間で会議等を実施し、支援を行う。	ハローワーク、障害者職業センター、就業・生活支援センター等と連携を取って行っている。	・自立訓練センター利用者の退所後の支援として、就労支援施設の紹介 ・診断後、就労支援施設の紹介・連携 ・診断後、障害者就業・生活支援センターの紹介・連携 ・診断後、障害者職業センターの紹介・連携
	就労支援を行うにあたっての問題点について	①病状の安定②主治医のゴーサイン③必要な体力気力の回復④通勤交通機関利用のクリア⑤職場の人の理解⑥仕事への意欲と可能性（内容）⑦代償手段の獲得⑧障害者雇用、就労支援制度の理解⑨支援機関との連携のうち、客観的な部分は比較的安定が見極め易いが、④⑥⑦については特に、本人の病識の無さと関係が深いため、引続いての課題となりやすい。ほか、職業生活が始まると、脳の画像や検査結果に比例しない面が多々顕在化してくる。	就労先の高次脳機能障害に対する障害理解が不十分	・市町村、就労支援施設、生活訓練施設間の連携と連絡調整 ・本人の病識の欠如 ・（一般就労・復職の場合）会社側の意向
	就労支援を行うにあたっての問題点への対策についてどのようにされていますか	・早期の関係機関への繋ぎを図り、事後の連携も直ぐに取れる体制づくり（情報共有の継続化）。 ・関係者との随時の支援会議実施。 ・家族支援	研修会等を開催し、障害理解を深めてもらえるような働きかけを行ったり、就労先へ本人に同行し、障害の説明を行い環境調整などを行うなど	・関係機関との連絡調整 ・支援担当者会議、本人・家族も含めた支援会議の開催
その他（広報・啓発や独自に取り組んでいる事業など）		・高次脳機能障害者グループワーク前期（全15回） ・高次脳機能障害パンフレット改訂（7月 3000部作成/対応医療機関一覧 1000部作成） ・高次脳機能障害者グループワーク後期（全15回予定）	リーフレットの配布 対応方法の記載した小冊子の配布	●奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会主催「高次脳機能障害研修会」（平成26年7月20日、平成26年11月30日開催への協力）
研究発表（論文・学会発表・著書など） ※件数のみ記入。詳細は添付資料2参照		論文発表 0件 学会発表 2件 著書 0件	論文発表 0件 学会発表 0件 著書 0件	論文発表 0件 学会発表 0件 著書 0件
知的財産権の出願・登録状況 健康危険情報		特になし	特になし	特になし
中学生・高校生に対する取り組み	ケースの有無「有」ならば ①評価・診断について ②訓練について ③連携機関について	有 ①京都府立医科大学附属病院神経内科・高次脳機能障害外来 心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 ②盲学校、心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 ③盲学校、公立南丹病院、障害者生活支援センター	有 ①和歌山県立医科大学付属病院リハビリテーション科 Dr ②和歌山県立医科大学付属病院 OT ST	有 ①奈良県高次脳機能障害支援センター嘱託医 ②— ③—
	研修会・勉強会等の実施状況	特になし	—	特になし
今後に向けての課題		—	各圏域での支援ネットワークの構築	・高次脳機能障害の普及・啓発活動（関係機関対象、小児高次脳機能障害に関する研修） ・各圏域での実態の把握、支援機関との連携を強化 ・学校や企業などとの連携

近畿ブロック 高次脳機能障がい者支援体制の整備状況（府県）（平成26年9月末現在）

府県名		滋賀県	兵庫県	大阪府
支援拠点機関名		滋賀県高次脳機能障害支援センター	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	障がい者医療・リハビリテーションセンター
支援コーディネーター 氏名 職種 常勤 or 非常勤 専任 or 兼務		・田邊 陽子（精神保健福祉士・常勤・専任） ・小西川 梨紗（臨床心理士・非常勤・専任） ・三田村 麻奈（非常勤・専任）	・藤坂 幸広（社会福祉士・精神保健福祉士・常勤・専任） ・長谷 聡美（社会福祉士・精神保健福祉士・常勤・専任） ・酒井 達也（作業療法士・常勤・兼務）	●大阪府障がい者自立相談支援センター ・西野 朋子（CW・常勤・専任） ・藤原 彩（心理・常勤・専任） ●大阪府立急性期・総合医療センター ・松尾 こずえ（MSW・非常勤・兼務） ●大阪府立障がい者自立センター ・山下 久美（CaW・常勤・兼務） ・安部 紫（心理・常勤・兼務）
庁内外支援体制整備関連会議の立ち上げについて	庁外（会議名及び参加機関名）	●平成26年度高次脳機能障害支援センター連絡協議会（医療機関・保健所・地域活動支援センター・行政・支援施設・支援拠点機関・精神保健福祉センター、自立支援協議会等）1回 ●高次脳機能障害支援専門チーム会議（医療機関・障害者職業センター・行政・更生相談所・支援施設・支援拠点機関・地域生活支援センター・精神保健福祉センターなど）1回	●兵庫県高次脳機能障害支援普及検討委員会（医師、心理士、有識者、（一社）兵庫県相談支援ネットワーク代表理事、当事者・家族会代表） ●兵庫県障害者自立支援連絡協議会相談支援部会 ●障害者等相談支援コーディネート事業圏域コーディネーター連絡協議会 ●神戸市西区障害者自立支援協議会	●大阪府障がい者自立支援協議会 高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会（医師、当事者・家族会、市町村、事業者、就労支援機関、教育、児童相談所、保健所、支援拠点機関等） ・第1回（7月実施）議題 1 平成25年度事業報告について 2 平成26年度事業（案）について ・地域支援ネットワーク支援強化事業 ・自動車運転評価モデル事業 ・第2回（27年1月予定） ※今年度はワーキンググループ開催予定なし
	庁内（会議名及び参加職種・組織名など）	●相談モール連携会議 1/2w（発達障害者支援センター、地域生活定着支援センター、更生相談所、ひきこもり支援センター、精神保健福祉センター）	●総合リハ高次脳機能障害支援推進検討委員会 ●総合リハ高次脳機能障害支援推進ワーキング部会（医師、看護師、心理士、OT、ST、MSW、就労支援、生活訓練、研修専門員、支援Co）	●運営協議会 ・コーディネーター会議（月2回・障がい者医療・リハビリテーションセンターの3機関の支援コーディネーター等（CW・MSW・CaW・心理等）が参加。） ・高次脳支援チーム会議（月1回・本庁所管課及び障がい者医療・リハビリテーションセンター3機関の実務責任者（CW・心理・CaW）・堺市が参加。）
相談件数 ①来院・来所 ②電話 ③メール・書簡 ④その他（訪問・出張・同行など）	当事者・家族	①86件 ②348件 ③49件 ④82件 計565件	①159件 ②337件 ③46件 ④38件 計580件	①576件 ②546件 ③30件 ④16件 計1,168件
	関係機関	①37件 ②467件 ③78件 ④167件 計749件	①75件 ②854件 ③22件 ④65件 計1,016件	①244件 ②1,254件 ③41件 ④5件 計1,544件
研修会・セミナー等の開催状況及び講師派遣 ※研修会名・回数のみ記入。詳細は添付資料1参照		○滋賀県高次脳機能障害支援センター ●研修会開催 滋賀県障害者医療福祉相談モール研修会 ●研修会講師派遣 ・リハビリテーションセンターSTEP2研修 ・困難を有する子ども・若者に関する支援者研修会 ●講師派遣 他関係機関からの講師依頼 4回	●研修会 兵庫県高次脳機能障害研修【基礎編】2回実施 兵庫県高次脳機能障害研修【専門編】1回実施予定 ●講師派遣 3回	●研修会 支援関係機関職員等 研修会 相談支援者養成研修（5日間） （相談支援者従事者研修専門コース別研修と一部合同開催） 医療機関等職員研修会 市区町村職員等研修会 市町村新任研修 当事者・家族等研修会 予定 ●講師派遣 3回
府県内の地域支援ネットワークの整備状況		・ネットワーク構築にむけての勉強会実施継続。1圏域(7圏域中)にてリハビリテーションセンターの協力を得て、地域支援機関と協働してネットワーク構築の展開を実施。今後、各圏域の自立支援協議会を活用、全圏域に展開していく予定。 ・「高次脳機能障害支援専門チーム」の会議を定期的に実施し、地域の困難事例に対しケース検討を実施。 ・各圏域における高次脳機能障害認証ケアマネ研修を県と協議中。	●県内圏域ごとの障害者自立支援協議会及び圏域連絡会議に出席 ●県内障害福祉サービス事業所へ高次脳機能障害者の受入れに関するアンケート実施	●地域支援ネットワーク体制整備事業を継続して実施。 ・平成25年度に8圏域中5圏域で委託済であったが、新たに2圏域と委託契約。予定委託7圏域全てが委託済みとなる。 残り1圏域（大阪市圏域）は障がい者医療・リハビリテーションセンターが引き続きネットワーク会議等の運営を行う。 ・平成25年度に委託をした5圏域について作業部会等を自主的に立ち上げ、各圏域内での支援や活動を積極的に行っている。 ・大阪府が呼びかけ、各委託機関が集まり情報交換会を実施。

府県名		滋賀県	兵庫県	大阪府
支援拠点機関名		滋賀県高次脳機能障害支援センター	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	障がい者医療・リハビリテーションセンター
拠点機関における訓練の提供状況	医療機関	入院・外来患者において、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士がそれぞれで個別対応のリハビリを実施。あわせて、それぞれの職種と医師がチーム体制をとって集団プログラムを実施。	●リハビリテーション中央病院（OT、ST、心理）	●大阪府立急性期・総合医療センターでのPT・OT・STによる入院リハビリ ●障がい者医療・リハビリテーションセンターにおいてOTによる外来認知訓練
	福祉・就労支援機関	むれやま荘における自立訓練 ・自立訓練（生活訓練：定員18名） ※主に高次脳機能障害診断基準該当者生活訓練プログラムを実施 ・就労移行支援（定員：12名） ・自立訓練（機能訓練：定員30名） ※身体障害を重複されている利用者を含め、利用者全体の60%近くが高次脳機能障がい者であり、個々に対応したプログラムを提供している。 今年度はむれやま荘内で高次脳機能障害の勉強会を実施。センターと協働事例の検討。	●障害者支援施設 ・自立生活訓練センター（機能訓練、生活訓練、高次脳機能プログラム、自動車運転評価） ・あけぼのの家（就労移行支援、就労継続支援B型） ●障害者能力開発施設 ・職業評価 ・職業訓練（情報系、生産系）	●大阪府立障がい者自立センターにおける自立訓練 ・自立訓練（生活訓練：定員30名） ※高次脳機能障がい者対象 ・自立訓練（機能訓練：定員60名） ※利用者の88%が高次脳機能障がい者であり、対応したプログラムを提供 ※平成26年4月1日～平成26年9月30日までの利用者は生活訓練60名、機能訓練78名 ※生活訓練利用者の退所後の日中活動は、
就労支援について	どのような経路で就労支援を行っていますか	各地域のハローワーク・働き暮らし応援センターと連携し、障害者職業センターの機能を使いながらチームで支援している。	支援機関が関わっている方には、ケース会議等を開催している。総合リハビリテーションセンター内の能力開発課で一定の評価及び訓練の後、就労先へつないだり、支援機関へつなぐ。復職の場合リハビリ出勤を重点的に支援する。支援機関、医療機関、高次脳機能障害相談窓口と協同して環境調整等の支援を行う。	障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター、ハローワーク、就労移行支援事業所等と連携しながら就労支援を進めている。具体的には、本人の要望を踏まえ、同意の上で、個人情報に配慮しながら情報を共有し、就労支援機関と協力した支援を行っている。また、就労支援機関に本人と同行したり、関係機関を含めたケースカンファレンスを行ったりしている。
	就労支援を行うにあたっての問題点について	① 経済的な状況と本人の病態失認等があり、本人・家族が受傷・発症前の仕事と同様の給与・職種を希望されることが起こりやすい。このような場合は、現時点で可能な職業のマッチングと本人・家族が希望する職業のすり合わせに時間がかかり課題となっている。 ② 事業所によっては本人の状態像から高次脳機能障害について理解が得にくい。さぼっているようにうけとられてしまう。また、事業所によっては支援者が入れないケースもある。 ③ 軽度高次脳機能障害の場合は、障害者手帳の申請をおこなうことが困難（医療機関において診断書記載が出来ないと判断されるなど）障害者手帳、障害年金の診断書を書ける医師が少ない。医師によっては書いてもらえるが、本人の状態が反映されない診断書となり、障害の説明が必要な場合も多い。	企業等に高次脳機能障害の特性が伝わっていない場合、できないことや困難性の高い作業を説明しても理解されず、本人が誤解されてしまう。	本人、家族の障がい認識、障がい者手帳の取得等により、一般枠での就労が障がい枠での就労を目指すかの分かれ道となる。また、本人の就労の意志の有無によって、他機関との連携の取りやすさが変わってくる。また、復職・新規就労するにあたって、会社の人事担当者や産業医、或いは間に入る関係機関の職員が、本人の障がいや配慮方法等の理解（たとえば、高次脳機能障がいに顕著な症状である「疲れやすさ」をどのように配慮していくかなど）が、就労継続へのポイントとなる。
	就労支援を行うにあたっての問題点への対策についてどのようなようにされていますか	① 時間をかけて事業所も含めたチームアプローチを行い、支援の切れ目をなくすような本人・家族の気持ちに寄り添った支援を心がける。 ② ご本人が障害者雇用枠を希望し、かつ手帳申請も希望する場合は、専門医につなぎ手帳を取得する方向で支援する。受診同行し主治医に説明。地域連携室のCWとの連携。場合によっては専門医につなぎこともある。	本人の気づきを促し、本人の障害認知を高め、就労先等には文書や口頭で本人の状態を詳細に伝え理解を得られるよう、企業との関係性を築いておく。受け入れ可能とする福祉事業所の情報を把握する。	高次脳機能障がいについての本人、家族への説明を医師にお願いしたり、日常生活、社会生活での困ったことへの気づきを促し、障がいの正しい理解につながるよう支援している。会社の担当者（産業医含む）や、会社を支援する就労の関係機関の担当者に対して、医師から説明や診断書作成等を行うことにより、正しい理解を進めるよう支援している。総合労働事務所が作成するハンドブックへの高次脳機能障がいに関する記事の掲載、障がい者雇用フォーラムでの啓発チラシの配布などを行うことで間接的な支援を行っている。

府県名		滋賀県	兵庫県	大阪府
支援拠点機関名		滋賀県高次脳機能障害支援センター	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	障がい者医療・リハビリテーションセンター
その他（広報・啓発や独自に取り組んでいる事業など）		SST事業・・・高次脳機能障害者の就労とその継続に向けたコミュニケーションスキルの向上の促進を目指し、ソーシャルスキルトレーニングを通して就労支援を図ることを目的としている。1クール5回。2回/月	県内の各圏域訪問	事業 ●地域支援ネットワーク体制整備事業を実施（2年目）。平成25年度までに委託契約している圏域において、より強力なネットワーク構築を目指す。今年度新たに契約した2圏域については自立的運営が行えるよう支援を行う。 ●医療機関に対する「高次脳機能障がい」周知事業を実施。二次救急をはじめとする大阪府内の医療機関に対し、高次脳機能障がいを普及啓発する仕組み作り、地域支援ネットワークへの参画を依頼する。アンケート調査実施。 上記事業の取り組みとして、高次脳機能障がいの普及啓発リーフレット（A4三つ折り）を作成し、退院時に配付してもらうよう依頼する予定。 ●高次脳機能障がい者自動車運転評価モデル事業を実施。自動車運転再開を目指す高次脳機能障がい者の評価を行う（9月より実施）。 広報 ●平成25年度に作成した高次脳機能障がい支援ハンドブックを各種研修等で随時配布 ●A4裏表カラー1枚ものの啓発ちらしを研修等で随時配布 ●ホームページに地域支援ネットワーク資源マップ掲載済み、高次脳機能障がい支援ハンドブックを掲載予定 研究会 ●「大阪高次脳研究会」を共催（月1回） ●「大阪高次脳機能障がい者就労支援勉強会」を共済（年3回）
研究発表（論文・学会発表・著書など） ※件数のみ記入。詳細は添付資料2参照		論文発表 0件 学会発表 0件 著書 0件	論文発表 0件 学会発表 4件 著書 0件	論文 2件 学会発表 5件 著書 0件
知的財産権の出願・登録状況 健康危険情報		なし	なし	なし
中学生・高校生に対する取り組み	ケースの有無「有」ならば ①評価・診断について ②訓練について ③連携機関について ----- 研修会・勉強会等の実施状況	有 ①診断：滋賀県成人病センター・主治医 評価：滋賀県成人病センター・スクールカウンセラー・クリニック 診療：障害者総合診療所(県立むれやま荘) ②なし ③学校・教育センター・県発達障害者支援センター、市町発達支援室・保健所・医療機関・生活支援センター・児童デイサービス・市障害福祉課 ----- 困難を有する子ども・若者に関する支援者研修会にて講師 下半期に計画中	有 ①評価・診断の受け入れは難しい。 ②自立生活訓練センターでは、こども家庭センターと相談の上、訓練を受け入れた例がある。 ③学校、教育関係機関、地域の障害福祉サービス事業所等と連携している。 ----- 特になし	有 ①大阪府立急性期・総合医療センター 主治医 ②大阪府立急性期・総合医療センター・かかりつけの病院 ③学校・教育委員会と連携 他県支援拠点機関と連携（他府県連携） ※新規・継続ケースともに、相談があれば随時対応 ----- 堺市で11月1日開催の研修「子どもの高次脳機能障害への支援」の周知協力
今後に向けての課題		●地域で継続的に対応できる体制整備(相談機関の充実)各圏域における高次脳機能障害認定ケアマネ研修体制の確立。圏域の自立支援協議会の活用検討。 ●教育や企業、司法領域との連携(垣根を越えた啓発・周知) ●診断書作成が可能な病院の養成(協力医療機関の養成) ●障害福祉サービスの利用を希望しない高次脳機能障害者への就労に向けた社会スキルを身につける訓練機会の提供。 ●滋賀県における重度高次脳機能障害者受け入れ体制の整備。	・診断およびリハビリ受け入れ可能な医療機関の確保 ・圏域独自の支援連携体制構築からネットワークへつなげる ・地域事業所への支援方法の普及(拠点機関からの積極的訪問と人材育成)と受け入れ促進 ・政令指定都市との連携	●政令指定都市(大阪市・堺市)との連携・堺市圏域における「健康福祉プラザ」との協力・連携 ●ネットワーク委託機関の充実を目指した協力支援 ●ネットワーク委託機関での事例検討の実施など、各圏域の支援力の更なる構築 ●各圏域内の診断・リハビリ等が可能な医療機関の充実 ●各圏域内の相談支援体制および人材育成の充実 ●各圏域内で生活訓練・就労支援等を提供できる事業所の充実 ●地域支援ネットワーク資源マップの内容の修正 ●対象と目的を明確にした研修の実施

近畿ブロック 高次脳機能障がい者支援体制整備状況（政令市）（平成 26 年 9 月現在）

市名	京都市	神戸市	大阪市	堺市
所管課	京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室	神戸市保健福祉局障害福祉課	大阪市福祉局 障がい者施策部障がい福祉課	健康福祉局 障害福祉部
担当者氏名（職種）	久世 晴香 （精神保健福祉相談員）	—	藪中 勉（事務職）	【障】八木 一夫（事務職員） 【精】竹内 千幸（事務職員 / 精神保健福祉相談員）
取り組み状況	独自の取り組み	未実施	神戸市精神障害者社会適応訓練事業の実施	—
	府県との連携状況	京都府主催の講演会等への協力参加や高次脳機能障害者支援に対するネットワーク会議への協力参加。	兵庫県精神保健職親会への参加	大阪市圏域地域支援ネットワーク会議
	訓練提供状況	未実施	神戸市精神障害者社会適応訓練事業の実施	—
	その他	—	—	—
就労支援について	どのような経路で就労支援を行っていますか	未実施	神戸市障害者就労推進センター及び地域障害者就労推進センター（東部・北部・西部）を設置し、地域の労働・福祉・保健・教育機関等と連携を図りながら、就労相談、職場開拓、職場定着支援などを幅広く実施している。	障がい者就業・生活支援センターでの相談・職場定着支援等。（高次脳機能障がい者に特化した就労支援事業は行っていない。）
	就労支援を行うにあたっての問題点について	—	障害特性（記憶力の低下、感情のコントロール等）に起因する職業生活上の困難さ。外見上、障害が分かりにくいことによる企業等理解の得にくさ。本人の障害受容が進まないことによる支援機関へのつながりにくさ等	—
	就労支援を行うにあたっての問題点への対策についてどのようにされていますか	—	記憶補助ツール（メモ、タイマー等）の活用。ジョブコーチ支援、あんしんすこやかセンター（介護保険）との連携・生活面での見守り	—

所管課	京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室	神戸市保健福祉局障害福祉課	大阪市福祉局 障がい者施策部障がい福祉課	健康福祉局 障害福祉部
その他 H27 年度以降の予定	未定 (京都府が専門相談窓口を設けており、本市としては専門相談等を設けていないが、各保健センター、こころの健康増進センター、身体障害者リハビリテーションセンター、障害者地域生活支援センター等において個別での相談支援を行っており、引き続き同体制で実施予定。)	—	—	○生活リハビリテーションセンターを中心に、平成26年度実施内容について継続実施等。

近畿ブロック 研修会・セミナー等の実施状況

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演内容（講演題目及び講演者）
京都府				
京都府高次脳機能障害医療福祉関係者等研修会	医療福祉行政関係者	平成 26 年 9 月 6 日	145 名	「医療機関が行う支援・地域につなぐ支援」 東京 慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科診療部長 渡邊 修 氏 シンポジウム「医療と障害者福祉の連携の現状と課題」 京都府リハビリテーション支援センター長 武澤 信夫氏 京都博愛会病院リハビリテーション科 部長 富田 素子 氏 京都民医連第二中央病院 リハビリテーション部作業療法課長 齋藤 嘉子氏 京都市西京障害者地域生活支援センター「うきょう」 所長 木村 耕司 氏 しよ うがい者就業・生活支援センター「あん」センター長 多田 潔司 氏
（協力）第 13 回脳外傷・高次脳機能障害 リハビリテーション講習会（北部）	一般府民	平成 26 年 11 月 15 日（予定）	—	「脳損傷による高次脳機能障害の理解と地域での支援」 京都府リハビリテーション支援センター長 武澤 信夫氏
（協力）第 14 回脳外傷・高次脳機能障害 リハビリテーション講習会（南部）	一般府民	平成 27 年 1 月 25 日（予定）	—	—
和歌山県				
高次脳機能障害支援地域支援ネットワーク研修会	医療・保健・福祉・介護従事者等関係機関担当者	平成 26 年 5 月 29 日	40 名	「高次脳機能障害の地域支援ネットワークについて」及び「事例検討会」 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域医療福祉学分野教授 白山 靖彦 氏
高次脳機能障害支援普及事業関係職員等研修会	医療・福祉・介護従事者、当事者家族等	平成 26 年 7 月 12 日	87 名	「高次脳機能障害を通して学んだこと」 障害者支援施設工房「羅針盤」 施設長 山河 正裕 氏 「生活リハビリ～生活版ジョブコーチ支援～」 岐阜医療科学大学保健科学部看護学科教授 阿部 順子 氏
高次脳機能障害支援地域支援ネットワーク研修会	医療・保健・福祉・介護従事者等関係機関担当者	平成 26 年 12 月 17 日	—	「高次脳機能障害の地域支援ネットワークについて」及び「事例検討会」 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域医療福祉学分野教授 白山 靖彦 氏
高次脳機能障害支援地域支援ネットワーク研修会	医療・保健・福祉・介護従事者等関係機関担当者	平成 27 年 1 月 28 日	—	「高次脳機能障害の地域支援ネットワークについて」及び「事例検討会」 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域医療福祉学分野教授 白山 靖彦 氏
奈良県				
平成 26 年度 高次脳機能障害研修会（医療機関職員対象）	医療機関職員	平成 26 年 9 月 13 日	64 名	< 報告 > 「奈良県における高次脳機能障害者支援の取り組み」（奈良県高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美氏） < 講演 > 「高次脳機能障害の検査・診断について」（奈良県高次脳機能障害支援センター嘱託医 平林 秀裕 医師）
平成 26 年度 高次脳機能障害研修会（支援関係機関職員対象）	支援関係機関職員（市町村、各事業所など）	平成 26 年 12 月 18 日	—	< 講演 > 『高次脳機能障害の理解と支援～社会的行動障害への対応～』（徳島大学大学院 教授 白山 靖彦 先生） < 体験発表 > 当事者ご家族 1 名 コメントーター 白山 先生
平成 26 年度 高次脳機能障害研修会（支援関係機関職員対象）	支援関係機関職員（市町村、各事業所など）	平成 27 年 2 月 13 日	—	< 講演 > 『高次脳機能障害の理解と支援～社会的行動障害への対応～』（徳島大学大学院 教授 白山 靖彦 先生） < 体験発表 > 当事者ご家族 1 名 コメントーター 白山 先生
滋賀県				
甲賀圏域高次脳機能障害勉強会	医療関係者・相談支援者	平成 26 年 6 月 13 日	33 名	「高次脳機能障害基礎理解」 川上 寿一 氏
甲賀圏域高次脳機能障害勉強会	医療関係者・相談支援者	平成 26 年 10 月 10 日	25 名	「事例を通じて高次脳機能障害のアセスメントを学ぶ」 川上 寿一 氏
甲賀圏域高次脳機能障害勉強会	医療関係者・相談支援者	平成 27 年 1 月 9 日	予定	予定

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演内容（講演題目及び講演者）
兵庫県				
平成 26 年度高次脳機能障害研修（基礎編）	行政関係職員 医療関係職員 障害福祉事業所職員 介護保険事業職員等	平成 26 年 9 月 19 日 平成 26 年 9 月 20 日	50 名	・高次脳機能障害の理解 ・高次脳機能障害の支援事例（障害福祉事業所の支援の実際） ・グループワーク
平成 26 年度高次脳機能障害研修（専門編）予定	行政関係職員 医療関係職員 障害福祉事業所職員 介護保険事業職員等	平成 27 年 1 月 23 日	100 名	高次脳機能障害者の就労支援
大阪府				
高次脳機能障がい 支援関係機関職員等研修会	支援関係機関等職員	平成 26 年 9 月 12 日	198 名	①「大阪府における高次脳機能障がい支援の取り組みについて」（大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 課長 栗村 由喜江氏） ②「高次脳機能障がいへのかかり方」（やまぐちクリニック 院長 山口 研一郎氏）
高次脳機能障がい 医療関係機関等職員研修会	医療関係機関等職員	平成 26 年 8 月 30 日	242 名	1.報告「高次脳機能障がい支援」～大阪における取組～（大阪府障がい者自立相談支援センター 所長 正岡 悟氏） 2.講演「高次脳機能障害の病態と支援」（医療法人社団 井野口病院 脳神経外科 部長 丸石 正治氏）
高次脳機能障がい 相談支援養成研修	高次脳機能障がい地域支援ネットワーク協力医療機関職員（MSW・OT・PT・CP・Ns等） 高次脳機能障がい地域支援ネットワーク地域支援協力機関職員（相談支援事業所・障がい者支援施設・作業所・就労・生活支援センター等職員） *今回、相談支援専門員は、相談支援従事者研修受講者として第1・2回のみ合同開催する（演習は別開催）	平成 26 年 5 月 27 日	47 名	1.高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業について（大阪府の取り組み）拠点機関の役割と地域との連携（地域支援ネットワーク）（大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 課長 栗村 由喜江氏） 2.高次脳機能障がいの理解（基礎） ①高次脳機能障がいとは 大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 主任部長 Dr 渡邊 学氏 ②高次脳機能障がいのリハビリ 大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 OT 池埜 弥生氏 ③高次脳機能障がいの診断評価 大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 CP 岡部 伸太郎 氏 3.社会福祉制度について 障がい年金、障がい者手帳、福祉制度の利用について ～事例を通じて～ 大阪府立急性期・総合医療センター MSW 岡本 みどり氏
高次脳機能障がい 相談支援養成研修	高次脳機能障がい地域支援ネットワーク協力医療機関職員（MSW・OT・PT・CP・Ns等） 高次脳機能障がい地域支援ネットワーク地域支援協力機関職員（相談支援事業所・障がい者支援施設・作業所・就労・生活支援センター等職員） *今回、相談支援専門員は、相談支援従事者研修受講者として第1・2回のみ合同開催する（演習は別開催）	平成 26 年 6 月 4 日	47 名	1.高次脳機能障がいへの基本的対応 ①高次脳機能障がいへの対応の基礎と実践（大阪府立障がい者自立センター 竹内 美奈子 OT） ②社会的行動障がいへの対応（大阪府立障がい者自立センター 北野 多重 CT） 2.大阪府立障がい者自立センターにおける支援の実際 ①生活訓練プログラム（大阪府立障がい者自立センター 安部 紫 CP） ②地域移行支援の実際（大阪府立障がい者自立センター 並河 康次 CW） 3.就労支援の実際（クロスジョブ阿倍野 西脇 和美氏） *グループワークとグループ発表
		平成 26 年 6 月 20 日		1.高次脳機能障がいの実際 2.相談場面の実際（ロールプレイ） 3.グループワーク・報告 4.フィールドワーク説明
		平成 26 年 6 月 30 日（土曜日の朝 9 時から 11 時 30 分 時間程度）		1.支援現場フィールドワーク（1 府内 3 箇所に分かれて） ①現場での取り組みを見学 ②ネットワーク構築に関する取り組みを含めた現場での情報交換等 ①交野自立センター 通所部 ②生活リハビリテーションセンター ③大阪府立障がい者自立センター
		平成 26 年 7 月 9 日		1.圏域ネットワーク構築に関する報告 ネットワーク委託機関等からの報告 2.当事者・家族からの報告及び情報交換会 ①当事者・家族会からの体験報告 ・東大阪え～わの会 立花 勇二氏 ・八尾のほっと・ケーキの会 藤崎 千里氏 3.ネットワーク委託機関職員・家族を囲みグループ別交流会 *5 グループ

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演内容（講演題目及び講演者）
高次脳機能障がい 市区町村職員等研修会	市区町村障がい福祉担当職員等	平成 26 年 11 月 11 日	25 名	<p>1. 「高次脳機能障がいの理解（基礎）」</p> <p>①高次脳機能障がいとは 大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 主任部長 Dr 渡邊 学氏</p> <p>②高次脳機能障がいのリハビリ 大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 OT 池埜 弥生 氏</p> <p>2. 「社会福祉制度について」 大阪府立急性期・総合医療センター MSW 松尾 こずえ氏</p> <p>3. 高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業について 拠点機関の役割と地域との連携（地域支援ネットワーク） 大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 主査 西野 朋子 氏</p> <p>4. 自立センターにおける高次脳機能障がいの支援と地域移行について 大阪府立障がい者自立センター</p> <p>5. 当事者・家族からの報告及び情報交換会</p> <p>6. 当事者・家族を囲みグループ別交流会</p>
高次脳機能障がい 市町村新任研修	市町村障がい福祉高次脳機能障がい相談・支援の担当者	平成 26 年 6 月 6 日	38 名	<p>1. 「高次脳機能障がいの理解と支援について」 大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 主査 西野 朋子氏</p> <p>2. 「大阪府立障がい者自立センター紹介」 大阪府立障がい者自立センター 自立支援課 課長 佐々木 利子氏</p>
職員研修	自立センター職員	平成 26 年 5 月 22 日	17 名	高次脳機能障がいについて～基本編～ 自立支援課 安部 紫

近畿ブロック 講師派遣状況

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演派遣者名及び講演題目
京都府				
障害者就労支援スキルアップ研修会	就労支援機関関係者	平成 26 年 7 月 23 日	60 名	「高次脳機能障害の基礎知識と京都での就労支援状況」 (京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志)
障害者雇用普及・啓発セミナー	就労支援機関、事業所、行政	平成 26 年 7 月 24 日	15 名	「高次脳機能障害支援について」(京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 久保原 寛子)
和歌山県				
家族会勉強会	当事者・家族・施設職員	平成 26 年 7 月 26 日	19 名	「障害者年金について」子ども・女性・障害者 相談センター 柴田 理子
奈良県				
学校法人 青丹学園 関西学研医療福祉学院 講義	学生	平成 26 年 11 月 19 日	—	「地域における高次脳機能障害支援センターの役割」 (奈良高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美)
滋賀県				
滋賀県障害者医療福祉相談モール 研修会	市町 相談支援従事者	平成 26 年 5 月 12 日	100 名	「高次脳機能障害者の理解と事業説明」 高次脳機能障害者支援センター 小西川梨紗、田邊陽子
むれやま荘 第 2 回 家族交流会	むれやま荘 利用者・家族	平成 26 年 5 月 25 日	7 名	「高次脳機能障害と脳機能について」 高次脳機能障害支援センター 小西川梨紗
安土荘 職員会議	事業所職員	平成 26 年 6 月 2 日	20 名	「高次脳機能障害の基礎知識と対応について」 高次脳機能障害支援センター
専門相談調整室 職員会議	職員 (相談支援従事者)	平成 26 年 6 月 13 日	30 名	「脳の機能について」 高次脳機能障害支援センター 小西川梨紗
ひきこもり研修会	医療従事者・教育関係者・市町・相談支援従事者	平成 26 年 6 月 30 日	120 名	「小児の高次脳機能障害について」 高次脳機能障害支援センター 小西川梨紗
ケアタウン南草津 職員研修	介護職員 NS,ケアマネ	平成 26 年 7 月 8 日 (火)	37 名	「高次脳機能障害の基礎知識と行動障害の対応について」 高次脳機能障害者支援センター
むつみ園 職員研修	むつみ園 職員	平成 26 年 8 月 19 日 (火)	21 名	「高次脳機能障害の基礎知識と対応について」 高次脳機能障害支援センター
むれやま荘 第 4 回 家族交流会	むれやま荘 利用者・家族	平成 26 年 8 月 3 日	7 名	「家族のメンタルヘルス」 高次脳機能障害支援センター 小西川梨紗
県立リハビリテーションセンター 教育研修事業専門研修 高次脳機能障害コースSTEP 2	医療従事者 市町 相談支援従事者	平成 26 年 9 月 7 日	50 名	「社会的行動障害について」 高次脳機能障害支援センター 小西川梨紗
にぎやか工房 職員研修	にぎやか工房 職員	平成 26 年 9 月 8 日	20 名	「高次脳機能障害の基礎知識と対応について」 高次脳機能障害支援センター
むれやま荘 第 6 回 家族交流会	むれやま荘 利用者・家族	平成 26 年 10 月 19 日	予定	「意欲低下について」 高次脳機能障害支援センター小西川梨紗
むれやま荘 第 7 回 家族交流会	むれやま荘 利用者・家族	平成 26 年 11 月 16 日	予定	「社会資源について」 高次脳機能障害支援センター小西川梨紗
兵庫県				
高次脳機能障がいサポートフレンズ ほっとパル研修会	当事者 家族 支援関係者	平成 26 年 6 月 8 日	20 名	「福祉の制度・サービスについて」 長谷聡美
平成 26 年度北播磨障害者(児)地域自立支援協議会研修会	行政 障害福祉関係者等	平成 26 年 7 月 25 日	80 名	「高次脳機能障害について」 白川雅之 「総合リハ高次脳機能障害相談窓口について」 藤坂幸広
姫路市相談支援事業者スキルアップ・フッシャアップ事業 相談支援応用(フッシャアップ)研修	姫路市内 障害者相談支援 事業従事者	平成 26 年 9 月 26 日	30 名	「高次脳機能障害の支援の現状」 藤坂幸広

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演派遣者名及び講演題目
大阪府				
高次脳機能障がい市町村新任研修	市町村障がい福祉 高次脳機能障がい相談・支援の担当者	平成 26 年 6 月 6 日	38 名	1. 「高次脳機能障がいの理解と支援について」 大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 主査 西野 朋子氏 2. 「大阪府立障がい者自立センター紹介」 大阪府立障がい者自立センター 自立支援課 課長 佐々木 利子氏
～高次脳機能障がい～岬町いきいき相談支援センター	関係機関職員	平成 26 年 7 月 15 日	24 名	「障がいの理解や支援の方法について」 大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 主査 西野 朋子 氏
平成 26 年度高次脳機能障害東海ブロック連絡協議会（厚生労働科学研究）	高次脳機能障がい東海ブロック連絡協議会委員及びオブザーバー参加者	平成 26 年 8 月 8 日	49 名	講演 他ブロックの支援ネットワーク紹介 大阪府 大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 主査 西野 朋子 氏
平成 26 年度福祉専門職研修（分野別研修）『高次脳機能障がいの理解』	大阪府福祉専門職（4 年目～6 年目）	平成 26 年 9 月 30 日	50 名	対人援助基礎研修・分野別研修 講義①「高次脳機能障がいとは」 ～高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業について～ 大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 課長 栗村 由喜江 氏 講義②「高次脳機能障がいのある人への支援」 ～大阪府立障がい者自立センター利用者からの体験談～ 大阪府立障がい者自立センター 自立支援課 澤田 匡史氏・安部 紫氏